

# 地 理 総 合

- 1 地理の基礎的事項に関する下の各問いに答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

問1 高校生のショウタさんは、東京から直行便の飛行機に乗って海外旅行に出かけた。飛行機は日本時間の1月の日曜日午後1時に東京を発し、現地時間の日曜日午前6時に目的地に到着した。飛行機には10時間乗っていた。ショウタさんの旅行先として最も適当なものを、次の中から選びなさい。

- |          |        |
|----------|--------|
| ① シドニー   | ② モスクワ |
| ③ ロサンゼルス | ④ ロンドン |

問2 正積図法により描いた世界地図として適当でないものを、次の図1の中から選びなさい。

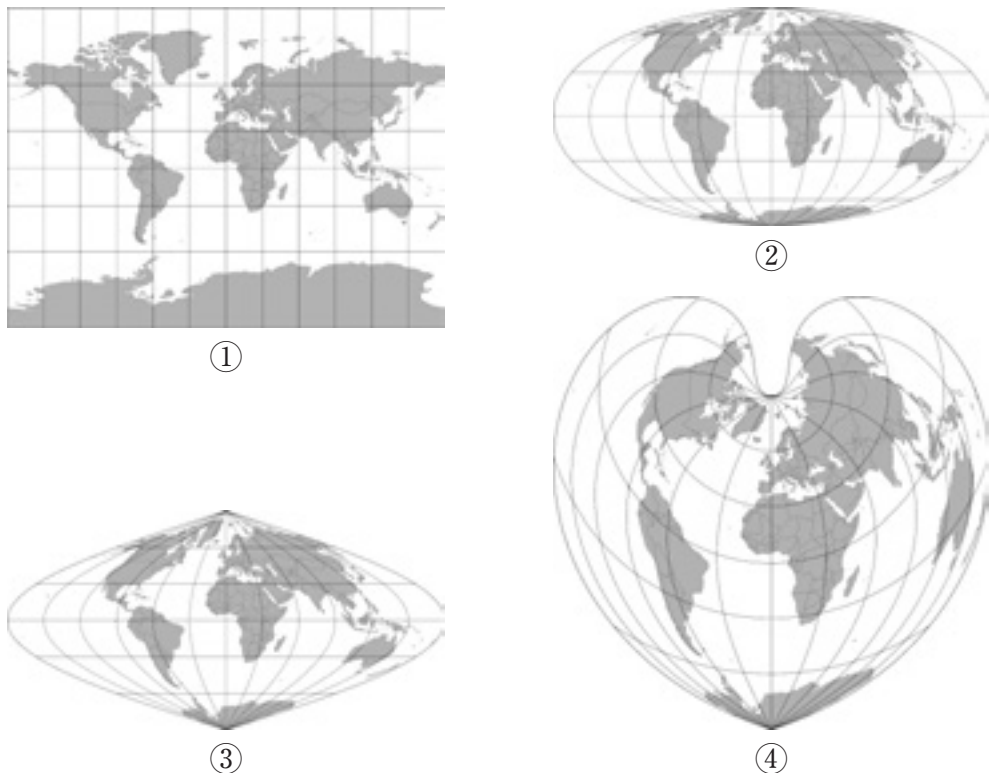


図 1

問3 次の図2は、ある地域の地区別の人口増加率について、階級の数や階級を区分する値を変えて描いた階級区分図である。人口が増えたのか減ったのかを把握するための階級区分図として最も適当なものを、図2の中から選びなさい。

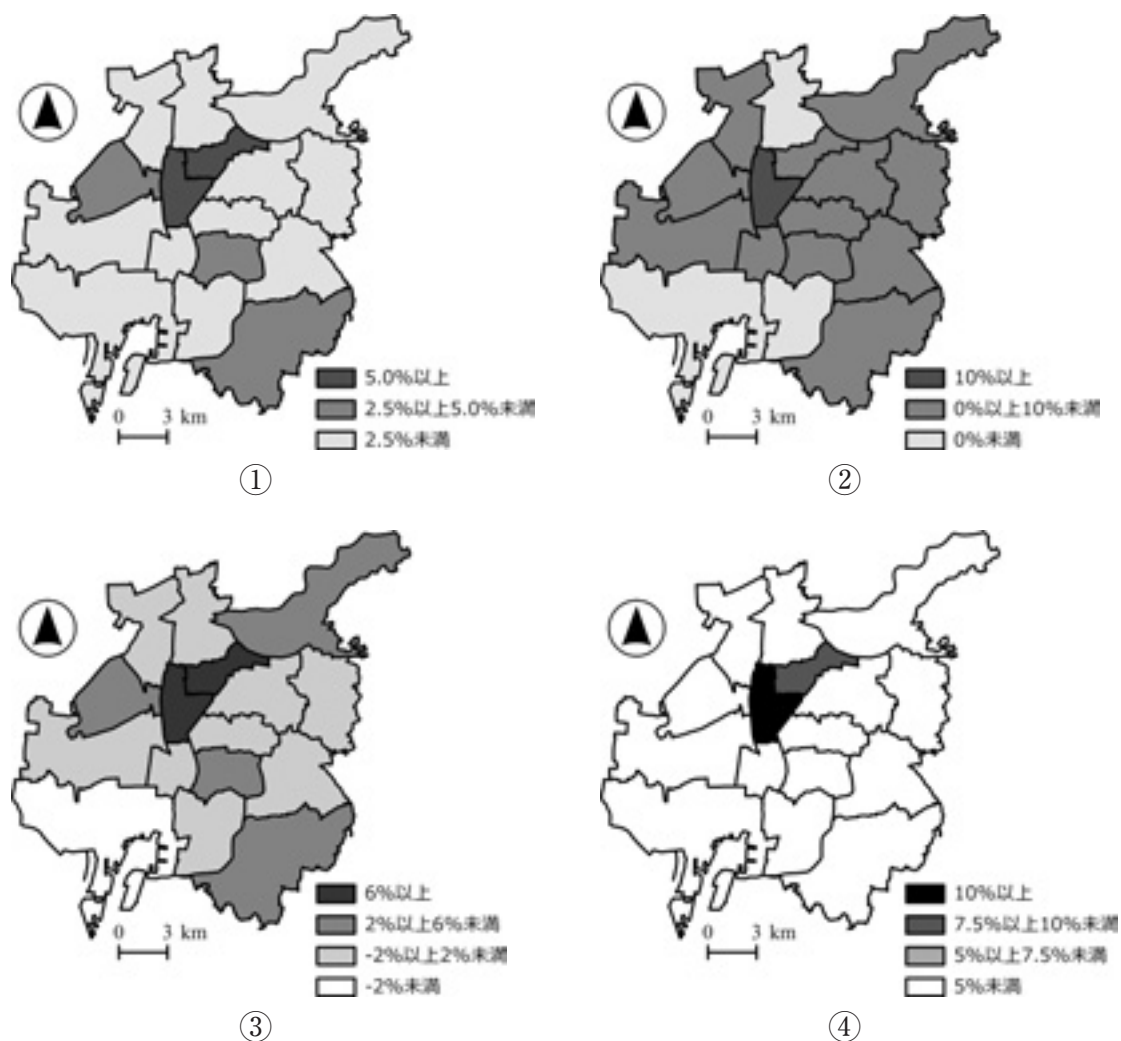


図 2

問 4 大規模な地震発生時における津波避難対策として、地理情報と GIS を活用した事例について述べた文として適当でないものを、次の中から選びなさい。

- ① 自宅から津波避難場所までの最短経路を探索し、避難に要する時間を推計した。
- ② 津波浸水想定区域と人口分布を重ね合わせ、避難が必要になる人数を推計した。
- ③ 津波避難場所から一定距離内の領域を特定し、津波浸水範囲の面積を推計した。
- ④ 津波避難場所に指定されている高台の公園の面積を計測し、収容可能な人数を推計した。

- 2 北アメリカの生活文化と産業について次の文章を読み、下の各問いに答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

北アメリカには⑦先住民族が暮らしていたが、16世紀後半にはヨーロッパから開拓者が移住し、植民地が作られていった。また、アフリカの人々が奴隷として労働することで、大農園ができていった。このように、①北アメリカは多様な移民により成立した場所である。

北アメリカの気候をみると、⑨多様な気候が広がっている。農業についてみると、⑤大規模農業が行われており、生産された穀物は世界中に輸出されている。巨大商社である④穀物メジャーは種苗から食品販売まで全体を統括している。また、トウモロコシなど栄養価の高い飼料となる作物を栽培し、⑧牛を短期間で大きく肥育し、世界中に牛肉を出荷している。

アメリカ合衆国の工業をみると、メサビ鉄山とアパラチア炭田が五大湖の水運で結び付けられ重工業が発達したが、⑥20世紀の終わりには国際競争力が弱まった。しかし、現在では情報技術産業が北緯□⑦□度以南のサンベルトで発達し、GAFAなどが現在の工業をけん引している。

問5 下線部⑦に関連して、北アメリカの先住民族として最も適切なものを、次の中から選びなさい。

- |         |         |
|---------|---------|
| ① アボリジニ | ② イヌイット |
| ③ マオリ   | ④ ロヒンギャ |

問6 下線部①に関連して，カナダにおいて，フランス語を母語とする人たちの割合が最も高い州として適当なものを，図1中のA～Dから選びなさい。

① A

② B

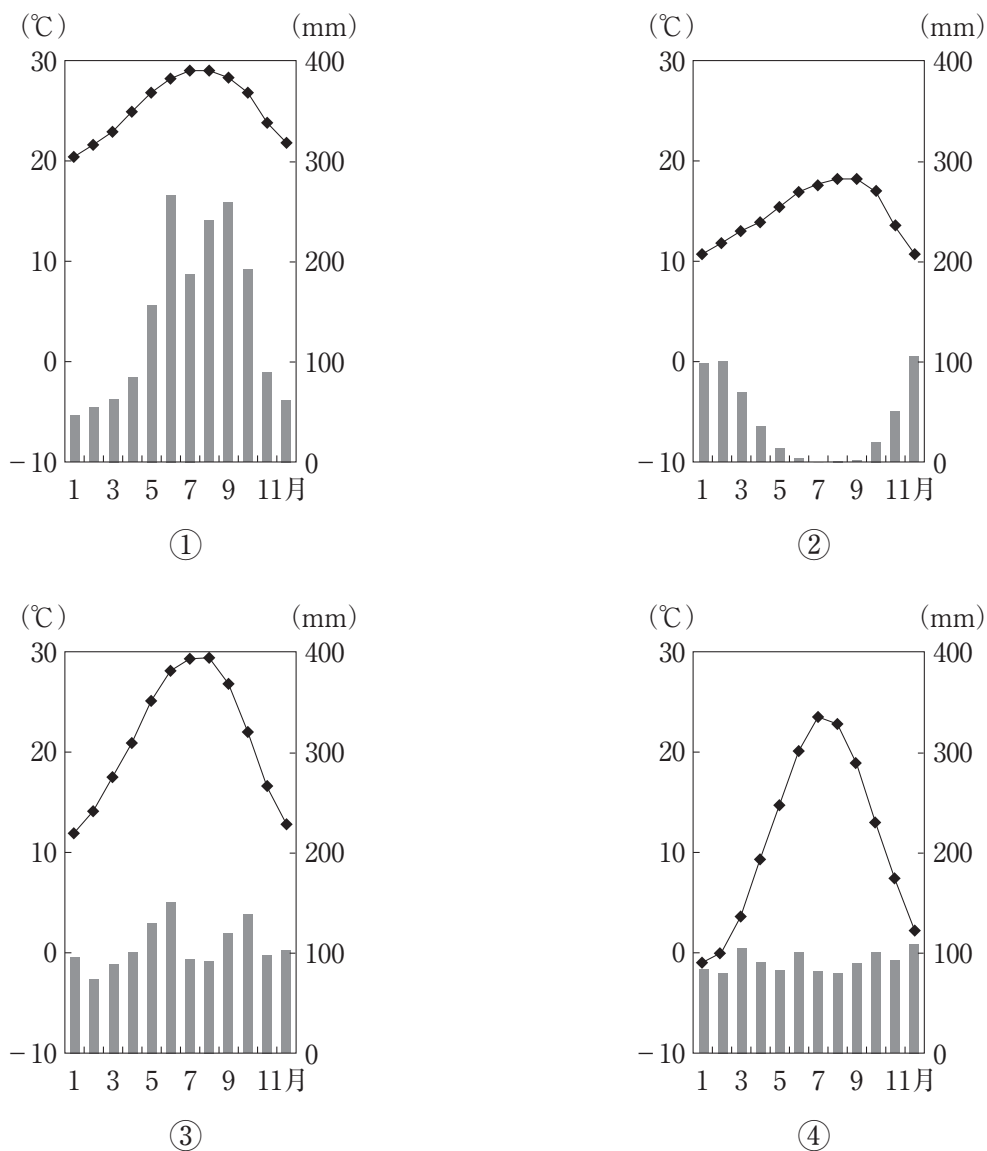
③ C

④ D



図 1

問7 下線部㉗に関連して、次の図2はサンフランシスコ、ヒューストン、ボストン、マイアミの雨温図である。サンフランシスコに該当するものとして最も適当なものを、次の中から選びなさい。



気象庁のホームページにより作成。

図 2

問8 下線部㉘に関連して、北アメリカで大規模農業を成立させる自然環境と営農の関係性を説明する語句として最も適当なものを、次の中から選びなさい。

- ① 園芸農業
- ② 地産地消
- ③ 適地適作
- ④ 焼畑農業



3

A

問

- ① イラン

問

- ① アメリカ合衆国

問

- ### ① コジエネレーションシステム

- ① アメリカ合衆国ではとうもろこし、ブラジルではさとうきびが原料に広く利用されている。
- ② バイオエタノールは、燃焼させても化石燃料のように二酸化炭素を増やさないという利点がある。
- ③ ブラジルでは、国家の主導によってバイオエタノールの生産が行われてきた。
- ④ メキシコでは、ガソリンとバイオエタノールを混合した燃料で走行可能なフレックス燃料車が普及している。

問 17 空欄④に入る語句として最も適当なものを、次の中から選びなさい。

- ① 原子力                      ② 水素  
③ 水力                        ④ 潮力

[illegible]

問 19 下線部㊦に関連して、表 1 は 4 か国（アメリカ合衆国、インド、ドイツ、ブラジル）における発電電力量の内訳をみたものである。ドイツに該当するものを、次の中から選びなさい。

表 1

|   | 水力    | 火力     | 原子力   | 太陽光   | 風力    | 発電量計   |
|---|-------|--------|-------|-------|-------|--------|
| ① | 2,741 | 27,311 | 8,116 | 1,513 | 3,828 | 43,747 |
| ② | 1,624 | 12,478 | 471   | 756   | 771   | 16,101 |
| ③ | 3,628 | 1,893  | 147   | 168   | 723   | 6,561  |
| ④ | 250   | 3,283  | 691   | 493   | 1,146 | 5,883  |

統計年次は 2021 年。単位は億 kWh。発電量計にはその他も含む。  
『日本国勢図会』により作成。

問 20 下線部㊧に関連して、表 2 に示したメリットとデメリットをもつ発電方法として最も適当なものを、次の中から選びなさい。

表 2

| メリット                                                                                   | デメリット                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーである。</li> <li>・発電量が安定している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・適地の確保が困難である。</li> <li>・開発のコストとリスクが高い。</li> </ul> |

① 火力発電

② 太陽光発電

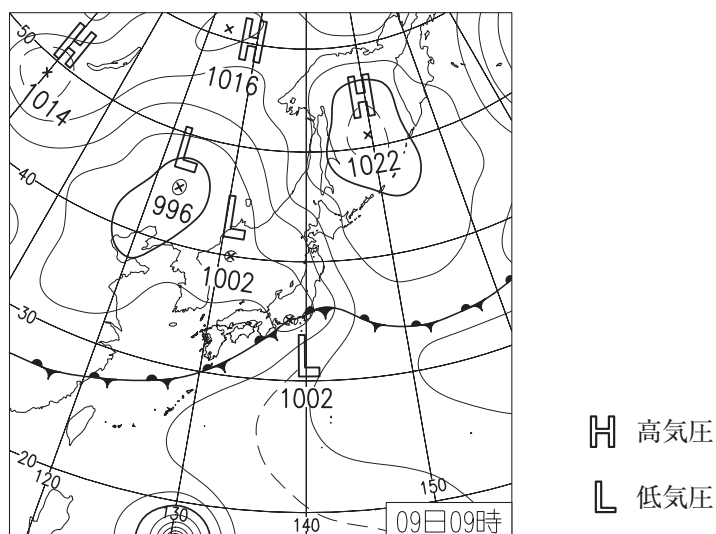
③ 地熱発電

④ バイオマス発電

- 4 日本の自然環境と防災に関する下の各問いに答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。

A 日本の気候と災害に関する下の各問いに答えなさい。

問 21 次の図 1 は 2023 年のある月の天気図である。このような気圧配置が典型的にみられる月として最も適当なものを、次の中から選びなさい。



気象庁のホームページにより作成。

図 1

- ① 1月                      ② 4月                      ③ 6月                      ④ 11月

問 22 図 1 のような気圧配置の時に、日本の各地でみられる特徴的な天候として最も適当なものを、次の中から選びなさい。

- ① 秋田県における平野部での大雪  
② 岩手県における 1 日を通した晴天  
③ 静岡県における集中豪雨  
④ 宮崎県における異常高温

問 23 図 1 のような気圧配置の時に、岐阜市でみられる気象現象として最も適当なものを、次の中から選びなさい。

- ① 数時間続く降水
- ② 数時間続く降雪
- ③ 数日間続く強風
- ④ 数日間続く低温

問 24 東海地方で発生した気象災害に関する記述として下線部が適当でないものを、次の中から選びなさい。

- ① 1959 年 9 月、猛烈な勢力の台風が伊勢湾を北上した。気圧上昇と干潮時刻が重なって高潮が発生し、濃尾平野南部の広い範囲が浸水した。
- ② 1994 年の梅雨期の降水量が非常に少なく、木曾川などのダムの貯水量や河川流量が大きく減少した。渇水により、広範囲において市民生活や工業、農業に大きな影響が生じた。
- ③ 2000 年 9 月、台風と前線の影響による記録的な大雨が降った。特に名古屋市では、雨水の排水が困難となり、地上にあふれて浸水する内水氾濫が各地で発生した。
- ④ 2024 年 1 月、岐阜県西部において短時間に記録的な大雪が降った。高速道路や国道で多くの車が立ち往生して通行止めとなり、県をまたぐ物流にも影響が生じた。

B 日本の地形と災害，防災に関する次の文章を読み，下の各問いに答えなさい。

日本はプレートの沈み込みにより形成された弧状列島であり，地下で生じたマグマによる火山活動が活発な地域である。㉞ 約 1 万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山が活火山と定義され，火山フロントと呼ばれる列をなしている。

㉟ 火山活動は噴火の様式や規模によって多様で，㊦ 噴火活動に伴って生じる災害も様々である。活動が活発な火山は気象庁によって常時観測されている。また，㊧ 噴火による被害を防止・軽減するための様々な対策や備えが進められてきた。

問 25 下線部㉞に関連して，日本列島に分布する活火山の数として適切なものを，次の中から選びなさい。

- ① 11                      ② 111                      ③ 1111                      ④ 11111

問 26 下線部㉟に関連して，日本の火山の特徴や噴火活動に関する記述として適当でないものを，次の中から選びなさい。

- ① 鹿児島県の桜島は，日常的な小規模噴火を繰り返している。近くの市街地にも降灰するため，風向きを考慮した降灰予報が行われている。
- ② 神奈川県と静岡県にまたがる箱根山は現在も活発に活動している。東京からの距離が近く，風光明媚な景観や温泉が観光地となっている。
- ③ 岐阜県と長野県にまたがる御嶽山は 2014 年に噴火した。火口付近に多くの登山客がいたため，噴火規模に比べて被害が大きくなった。
- ④ 静岡県と山梨県にまたがる富士山は最も最近の噴火が約 1 万年前であり，現在は活動が休止している。

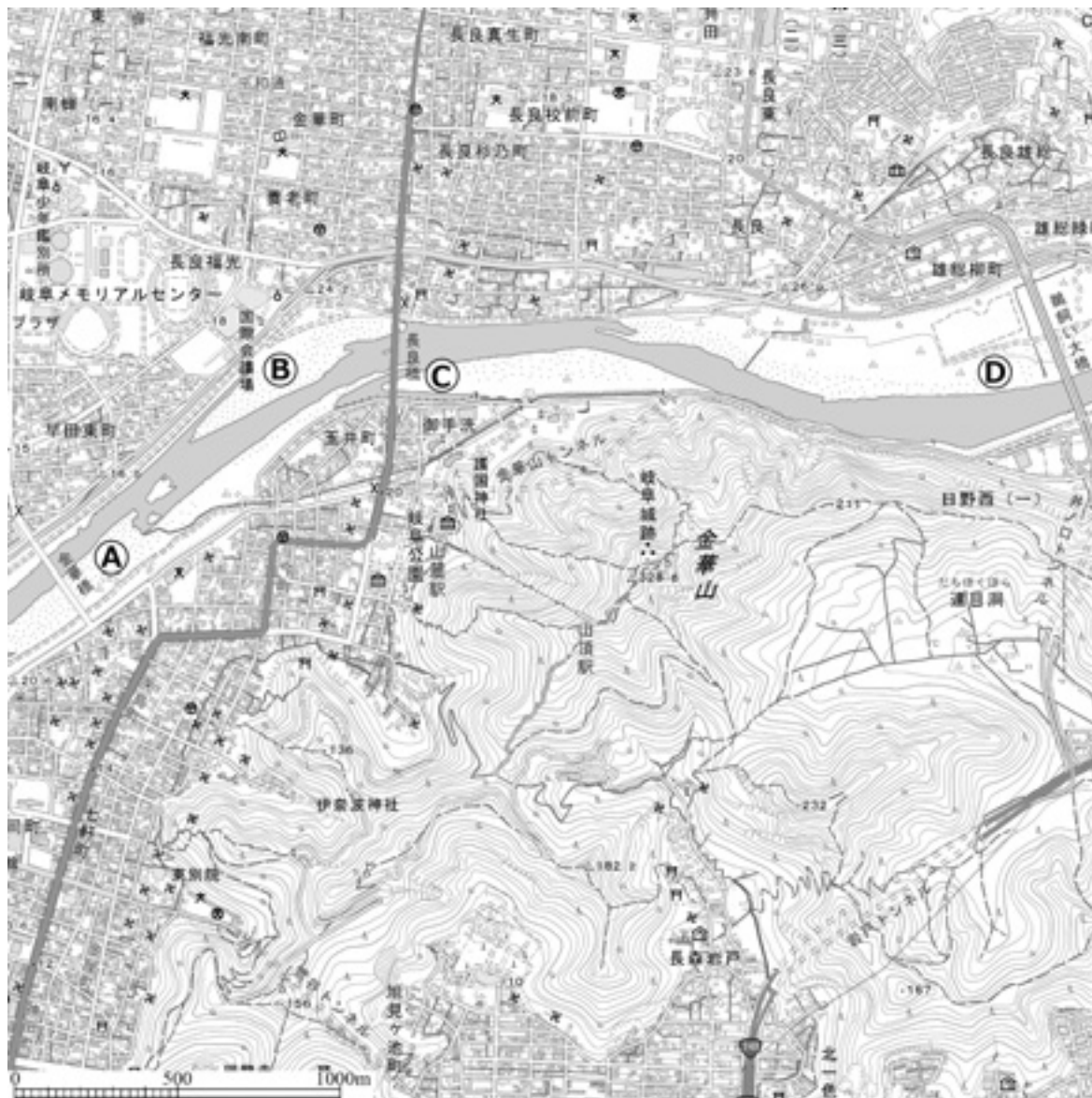
問 27 下線部㉔に関連して、火山の噴火活動によって引き起こされる一次災害の要因として適当でないものを、次の中から選びなさい。

- ① 火砕流            ② 豪雨            ③ 地震            ④ 溶岩流

問 28 下線部㉕に関連して、火山による災害に関する記述として適当でないものを、次の中から選びなさい。

- ① 火山灰などの噴出物は火口から同心円状に広がるので、噴火後は自宅から最も近い避難場所に避難する。
- ② 気象庁や研究機関が火山活動を観測しており、噴火の予兆現象を捉えることで、いつ噴火するかをある程度予測ができる。
- ③ 対策施設としては、火山泥流などの被害を防ぐための砂防施設や、噴石から逃れるための避難シェルターがある。
- ④ 降り積もった火山灰が少しの雨でも土石流となって、下流に被害をもたらすこともある。

- 5 次の図1は、高校生のショウタさんたちが調査を行った地域の地形図（一部改変）である。ショウタさんたちによる地域調査に関する下の各問いに答えなさい。解答は1つだけ選んで番号をマークしなさい。



国土地理院「電子地形図 25000」により作成。

図 1

問 29 長良川の河川敷に集合したショウタさんたちは、集合した河川敷から最も近い橋を渡った。橋からは左手に金華山山頂の岐阜城跡の天守閣が見えた。橋を渡った後、岐阜公園から登山道に入り、目的地の一つである岐阜城跡に到着した。ショウタさんたちが集合した河川敷として最も適当なものを、図 1 中から選びなさい。

- ① A                      ② B                      ③ C                      ④ D

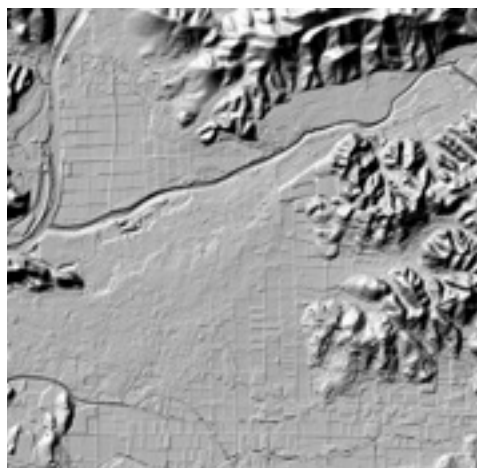
問 30 次の写真 1 は、ショウタさんたちが金華山の岐阜城跡から撮影したものである。撮影方向として最も適当なものを、次の中から選びなさい。



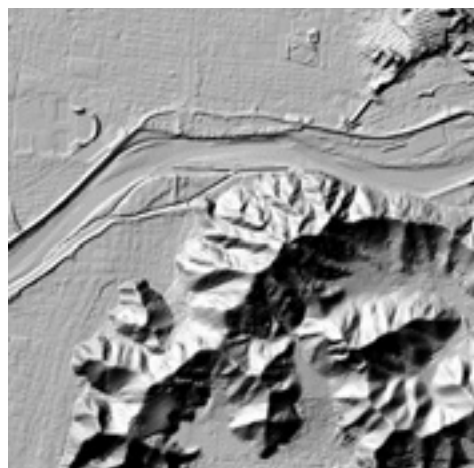
写真 1

- ① 東                      ② 西                      ③ 南                      ④ 北

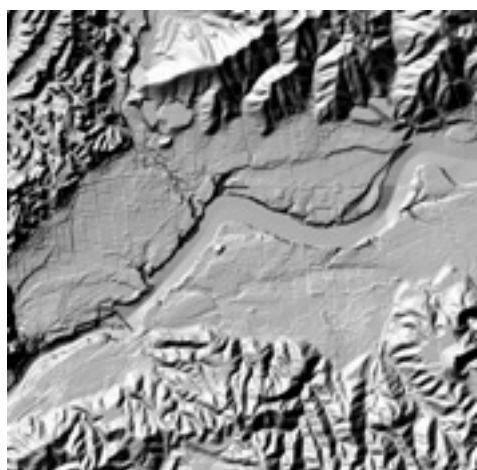
問 31 ショウタさんたちは、この地域の地形を概観するために、陰影起伏図を作成した。図 1 の範囲の陰影起伏図として最も適当なものを、次の図 2の中から選びなさい。



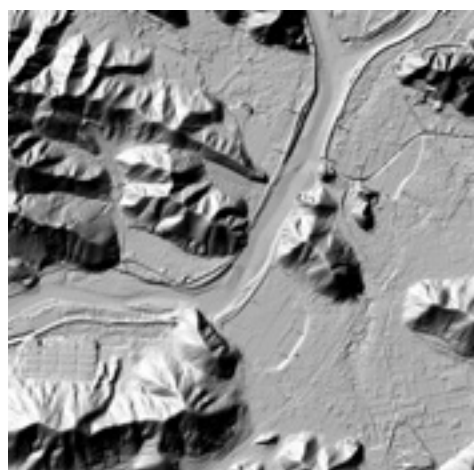
①



②



③



④

国土地理院「地理院地図」により作成。

図 2

問 32 ショウタさんたちによる、図 1 中の地域を対象とした調査として適当でないものを、次の中から選びなさい。

- ① 金華山における植生分布の特徴に関する調査
- ② 金華山の北東斜面における住宅地の拡大に関する調査
- ③ 長良川の洪水に対する避難計画についての調査
- ④ 長良川の生物多様性の保全計画についての調査